

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月24日	
茨城県知事 大井川 和彦殿	
提出者 住 所 茨城県日立市東町四丁目13番1号 氏 名 株式会社レゾナック 山崎事業所 事業所長 村井 康裕 電話番号 0294-23-8909	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社レゾナック 山崎事業所
事業場の所在地	茨城県日立市東町四丁目13番1号
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	16 化学工業
② 事業の規模	前年度製造品出荷額 ￥26,879,000,000
③ 従業員数	642名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・汚泥、廃酸、廃アルカリ 発生（底払い汚泥等）→委託→中和脱水、焼却→セメント原料、路盤材・廃油、廃酸、廃アルカリ 発生（ドラム缶、ポリ缶等）→委託→焼却（熱回収）→セメント原料等・廃プラ 発生（フィルム、巻芯、梱包容器）→委託→RPF化 発生（廃樹脂）→委託→焼却（熱回収）→セメント原料等・金属くず 発生（装置類）→委託→破碎（再生原料）



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

事業所長（全てに対する責任者）：村井 康裕



環境管理責任者（環境に関する責任者）：環境安全管理部 部長 堀内 隆太

ゼロエミッション委員会（廃棄物低減活動）：委員長 部長 浅井 由佳
委員 各部門課長、主任等

環境安全管理部 部長 堀内 隆太



法定管理者

特別管理産業廃棄物管理責任者

環境安全管理部 環境管理グループ 加藤 正利

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類
	排 出 量	512 t	869 t
	（これまでに実施した取組） 廃酸：1. 計画的な実験を実施。濃縮装置のPMによる安定稼働。 廃プラ：1. 歩留まり低減による廃フィルムの発生量の低減 2. ロス低減による廃樹脂発生量の低減 3. 分別による可燃ごみ削減 その他品目の実績量については別紙1. のとおり		
	【目標】		
② 計画	産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類
	排 出 量	512 t	867 t
	（今後実施する予定の取組） 上記取り組み継続実施 その他の実施事項 廃酸：1. 実験の効率化 廃プラ：1. 歩留まり向上、材料起因の不具合対策 2. フィルター使用頻度の適性化による発生量の削減 その他品目の実績量については別紙1. のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラ：1. 分別により焼却処分からRPF促進 2. 廃樹脂分別による燃料化の推進 金属くず：1. 分別による有価売却促進
③ 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラ：1. 廃フィルム用巻芯（ABS）の分別促進。3層フィルム分別機械化による有価売却促進。 上記取り組み継続

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	該当品目なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取り組み)		
	該当品目なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
該当品目なし			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
該当品目なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	該当品目なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当品目なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	全 処 理 委 託 量	869 t	78.2 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	788 t	75.7 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	628 t	75.7 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	162 t	0.06 t
	(これまでに実施した取組)		
	1. 優良認定業者委託の促進		
	2. 委託処理業者の現地確認がコロナ禍により未実施		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	全処理委託量	867 t	78.2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	788 t	75.3 t
	再生利用業者への 処理委託量	628 t	75.7 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	160 t	0.06 t
	(今後実施する予定の取組) 1. 優良認定業者委託への促進 2. 委託処理業者の現地確認の実施（コロナ禍以降）。 3. リスク回避のため、複数業者への委託促進		
※事務処理欄			

(別紙1)

(別紙1)

品 目 項 目		汚泥		廃油		廃酸		廃アルカリ		廃プラスチック		金属くず (乾電池含)		ガラス・陶磁器くず (電球含)		木くず		錠さい		がれき類		総 計			
		実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	比率	比率
[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]	[t]
①排出量	194.42	180.99	194.75	194.75	511.69	511.69	52.57	52.57	866.83	866.83	78.15	78.15	3.05	3.05	66.28	66.28	0.00	0.00	2.24	2.24	1971.87	1956.5	99.2		
②自ら直接再生利用した量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
④自ら中間処理した量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
⑤④のうち熱回収を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
⑥自ら中間処理した後の残さ量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
⑧自ら中間処理した後再生利用した量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
⑩直接及び自ら中間処理した後の 処理委託量	194.42	180.99	194.75	194.75	511.69	511.69	52.57	52.57	866.83	866.83	78.15	78.15	3.05	3.05	66.28	66.28	0.00	0.00	2.24	2.24	1971.87	1956.55	100		
⑪⑩のうち優良認定処理業者への 処理委託量	193.86	180.43	164.06	194.75	511.69	511.69	52.57	52.57	788.16	788.16	75.73	75.73	3.01	3.01	66.28	66.28	0.00	0.00	0.17	0.00	1855.53	1872.62	96		
⑫⑩のうち再生利用業者への 処理委託量	177.19	177.19	0.00	0.00	501.98	501.98	0.00	0.00	627.91	627.91	75.67	75.67	3.01	3.01	66.28	66.28	0.00	0.00	0.17	0.17	1452.21	1452.21	74		
⑬⑩のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	16.59	3.16	194.75	194.75	9.71	9.71	52.57	52.57	162.14	160.25	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	435.82	420.50	21		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。